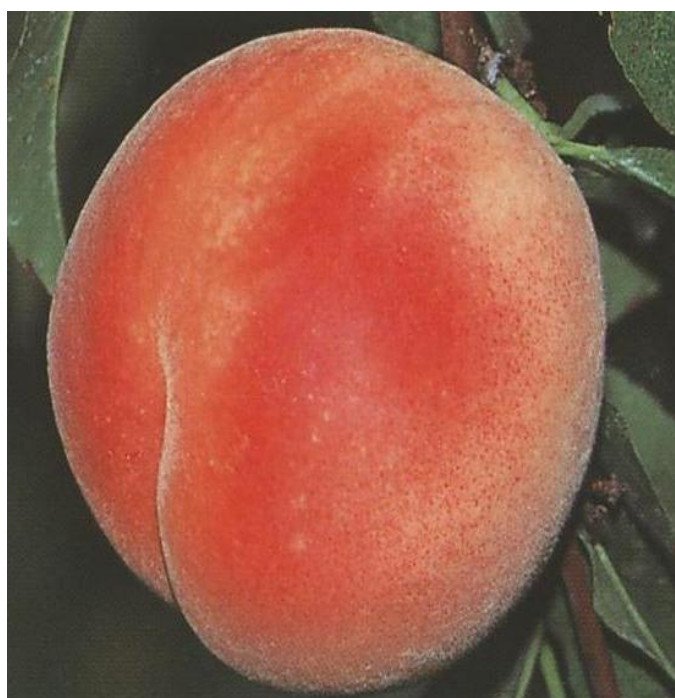


モモの

品質・食味向上と鮮度保持に！
カルシウム強化栽培！！



桃は食物繊維（整腸作用・美肌効果）やカリウム（高血圧予防）を豊富で、冷え性や二日酔いによいとされるナイアシンも比較的多く含まれ、また、ポリフェノール的一种であるカテキン類（ガン予防・老化抑制）も含んでいる健康維持に期待がもてる果物です！

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

モモ栽培におけるカルシウムの必要性

- ◆ カルシウム欠乏の症状が現れにくい性質で、初夏（晩生種）から収穫にかけてみつ症が発生する恐れがあるので開花後からカルシウムを切らさないように充分にあたえる！
- ◆ カルシウムを充分に吸収させ細胞分裂をスムーズにおこない、細胞壁を強化することでみつ症対策（予防）に期待が持てる
- ◆ 細胞壁を強化することで食味の向上や糖度 up にも繋がる
- ◆ 落花（果）や鮮度保持（貯蔵中の腐敗対策）にもカルシウム（カルゲン）は効果的！！

養分吸収量（収穫 1 トンあたり） kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
4.9	2.9	7.0	8.0	1.5

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連続施用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適！
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害（徒長・軟弱）を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備 考
春 肥	全面施用	2～3袋/10a	他の肥料と同時施用
秋 肥	全面施用	2～3袋/10a	他の肥料と同時施用
追 肥	葉面散布 (ネオカル水和剤)	150～200ℓ/10a	1,000 倍液 農薬と混用可能 (銅剤・アルカリ剤を除く)

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社